

28 みかわだ おおつか こふん 三河田大塚古墳



指 定 県 史 跡 昭和37年 7 月12日
所在地 三 河 田
所有者 柳 沢 茂



滑津川の右岸、中込杉ノ木の北方、三河田東方約900mの段丘縁近くにある。

古墳時代後期につくられた横穴式石室をもつ円墳で、墳丘は胃を伏せたように緩やかな弧を描いていて、高さ5m、径約30mの墳形は比較的よく原状をとどめている。

整然と組みあげられた石室には巨大な石が使用され、特に天井石や奥壁の石が大きく、全体の規模も堂々としている。

玄室の長さ約6.3m、幅約2.1m、高さ約2.9m、羨道の長さ約2.1m、幅約1.5m、高さ約1.3m、安山岩の大石37個をもって築造されている。

横穴式石室をもつ円墳としては、規模・構築の堂々たる点、ならびに保存の良好な点において、佐久平はもとより県内でも屈指の古墳である。

参考資料 「北佐久郡の考古学的調査」昭和9年